

スズキ株式会社より 2025年度の技術開発における貢献を評価

株式会社NITTAN（本社：神奈川県秦野市・東京都新宿区、代表取締役社長：李 太煥、以下「当社」）は、このたび、スズキ株式会社より2025年度における多大なるご貢献を頂いたお取引先様の中で技術開発 優秀お取引先様に選ばれ、技術開発面での貢献を評価いただきました。

今回の評価は、スズキ株式会社との協業のもと進めてきた、インド市場向けFFV（Flexible Fuel Vehicle：フレックス燃料車）用エンジンバルブの開発において、当社コア技術である盛金技術に使用される当社独自の開発材（当社材料コード：NMC340）を用いた製品が採用され、量産化に至ったことなどによるものです。

スズキ株式会社とFFV向けエンジンバルブの開発では、開発材「NMC340」を採用した排気バルブを開発しました。現在、同バルブはマルチ・スズキ・インドア社向けFFV車両に搭載される製品として量産化されています。

FFVでは、ガソリンに加えてエタノールなどを混合した燃料が使用されることから、エンジン部品にも燃料特性に対応した性能が求められます。こうしたニーズに対し、これまで培ってきたエンジンバルブの材料・設計・生産技術を活かし、開発に取り組んできました。

今回の評価を励みに、今後もお客様との技術交流・共同開発を一層推進してまいります。また、FFV向け製品で培った技術・知見を活かしながら、CNG（圧縮天然ガス）車両を含む幅広い用途への製品展開を目指し、技術開発と事業機会の創出に取り組んでまいります。

さらに、インドをはじめとする成長市場において、各国・地域のエネルギー事情や市場ニーズを捉えた製品・技術の展開を進めることで、新たな事業機会の創出につなげてまいります。

NITTANは、エンジンバルブをはじめとした長年のものづくりで培った技術力を活かし、お客様の多様なニーズに応えるとともに、モビリティ産業の発展に貢献してまいります。